

# 桐 蓄

編集発行 第12号  
 群馬県立桐生工業高等学校  
 同窓会事務局 編集部  
 群馬県桐生市西久方町1-1-41  
 TEL 0277 (22) 7141  
 印刷 湯浅印刷有限会社



左より、中野・北川・村田副会長・池田新会長・木村副会長・木島・八木橋新副会長、総会にて……

平成十二年度

## 同窓会総会 役員改選される

### 新会長 池田光二

同窓会のみなさまには、元気で活躍のことと拝察いたします。わたしは去る六月一七日桐生市民文化会館で開催の、平成十二年度同窓会総会で第七代会長に選出されました。その責任の重さに身の引き締まる思いです。もとより非力ですが、諸兄のお支えと、本部役員・支部役員・学校当局と事務局の先生方のご協力を得て、与えられた任期を全力で走る決意です。

たびに、同窓生がそれぞれの地域に基盤を築き、地域・業界のあらゆる分野で活躍されている雄姿に、胸を熱くいたしております。全国の同窓生にとって「桐工同窓会」は、かつて各自がもつとも純粹に燃焼した青春の、なつかしい心の故郷であり、そして同窓生の連帯の拠点として重要な存在であります。これまで歴代の会長が築かれた基盤を、一層強固なものにする必要があります。

同窓会の目的は、会員の親睦を図り、母校の教育振興に寄与することにあります。前会長五十嵐先輩は、正にこの目的達成のため、立派な成果を挙げられました。とくに、各地支部の拡大と充実、同窓会ゴルフ大会の連続開催、会報「桐蓄」の安定継続発行、本校生徒の海外ホームステイへの支援など、その功績はまことに偉大であります。

本校同窓会の会員は、本年四月現在一万七千人を越え、県内有数の規模となり、同窓生は全国各地で活躍しております。各地支部を訪問する

わたしは総会で会長就任のご挨拶に当たり、同窓会会則の第三条目的と第四条事業を朗読することで、もって、これからの活動の決意といたしましたが、実際問題として、少子化に伴う生徒数の減少は、同窓会の財務基盤に影響を及ぼし、また、各支部の活動も、年令差の拡大で支部長が運営にご苦労されています。その何れもが時代の変化によるものですが、最も適切な対応を会員諸兄とともに考えて、新しい世紀にのぞみたいと存じますので、会員諸兄の温かいお支えをお願いし、会長就任のご挨拶と致します。

### 校長就任挨拶

## 工業高校の

## 使命

校長 加藤 健一



桐生同窓会会員の皆様には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

私はこの度の十一年度末の人事異動によりまして、前橋工業高等学校から赴任いたしました。実績ある前校長の尾池先生や、力量ある歴代の校長先生と違い、新米の校長で浅学非才の身ですが、精一杯頑張る所存ですので、宜しくお願いたします。

さて、工業高校の将来ですが今日、若者の3K嫌い、理工系離れ、工業離れといわれれております。確かに科学技術への関心の低下や、製造業離

れといった社会的な風潮があり、それに対する懸念が指摘されております。それは、資源のない我が国が工業技術立国といわれるまでに工業技術が発展してきた過程には、工業高校出身の技術者が、開発や生産技術に係わってきたからであり、また、逆上って、小・中学校における「もの作り」の教育があり、更に専門性を高めるための工業高校の教育機関があったからです。それに、今の日本の社会を見たとときにいろいろな事象において混乱しており、経済回復も思わしくなく、また、生産活動の大きな要因となる人口も減少することなどを考えるときは先行き不安な状況になることは確かです。

十九世紀後半からの科学の発展と工業化は二十世紀に一層促進されて、自動車、電気製品、ラジオ、テレビ、電話等、生活に利便性と経済的な豊かさを与えました。特に、一九七〇年以降急速に発展した集積回路とコンピュータは大量の情報処理と機械制御を可能にし、コンピュータ時代を迎えております。今や歴史の流れは、工業化産業社会（先端製造業）から情報産業社会に移っています。しかし、日本在住の経済ジャーナリストのエーモン氏は著書「製造業が日本を救う」では、現在アメリカでもはややされている情報産業は、しょせん地道な「もの作り」にはかなわない。世界経済の勝者になるのは、経済のポスト工業化を推進したアメリカやイギリスでなく、先端製造業を経済の基盤に選んだ日本やドイツだといっております。製造業は明るい未来が開けている。これからの製造業者は今までも地球に優しい生産技術を目指さなくてはならないとも述べております。確かに便利さと豊かさを求めた工業化には、地球環境に甚大な影響を及ぼした負の遺産といわれるものもあります。このことからしても、工業高校の使命は極めて重要であります。私たちはこのような現状をふまえ、我が国が発展していくために、「もの作り」に興味・関心・意欲を持たせるための教育の創造が必要と思われるます。

### 開校記念講演

機械科三十年卒業

(財)運輸調査局

外国調査研究センター調査役

講師 大須賀一雄氏

演題「国際人を目指して」

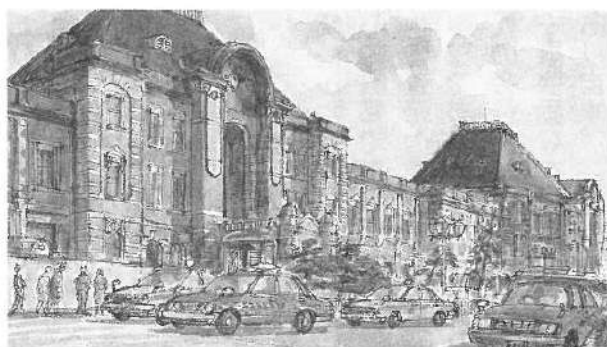


本年度は東京新聞で駅の絵の挿絵担当や「旅のスケッチ・駅物語（日貿出版社）」および「すぐ役立つ・実用鉄道英会話集（交通日本社）」の出版など多方面で活躍される大須賀一雄先生をお招きし五月一日に記念講演として講話をいただきました。

話は国鉄（現・JR）入社にまつわるエピソードから始まり、入社後、本社・外務部に配属時の、諸外国から訪れた来訪者との数々の交流談が中心でした。「ローマの休日」等で有名な女優オーディリ・ヘッ

プバーンとお会いする機会もあったそうです。それらの経験は英語を学んだおかげと話され、これからの世は益々語学を学ぶ必要があり「言葉は世界をつなぐ」と経験をもとに語学的重要性を語られました。

又、「チャンスは前髪にあり」・「継続は力なり」を信念に英語と絵で充実した日々を過ごされたと言られ、二十世紀を歩む後輩達に「国際人を目指し、夢・目的を持ちコツコツと得意分野を磨きなさい」と激励の言葉を贈られ講演会は終了しました。



東京駅 画：大須賀一雄氏

# 平成十二年度 総会開催

二十六支部 一五四名参加

日時・平成十二年六月十七日

(土) 午後三時

場所・桐生市市民文化会館  
スカイホール(四階)

## 一部・総会

次第

一・開会の辞

副会長 木村 広治

二・挨拶

会長 五十嵐 健雄  
学校長 加藤 健一

三・議長選出

議長(会長) 五十嵐健雄

(一) 報告第一号

平成十一年度事業報告  
副会長 池田 光二

平成十一年度決算報告

会計部長 大沢 秀夫  
平成十一年度監査報告  
監査役 藤生 修身

(二) 報告第二号

支部活動状況報告  
副会長 村田 永昌

(三) 議案第一号

平成十二年度事業計画案  
副会長 北川 貞彦  
平成十二年度予算案  
会計部長 大沢 秀夫  
(四) 議案第二号  
平成十二年度役員改選  
事務局長 中里 昌明

了承された

新本部役員変更者一覧

会長 池田 光二 前副会長  
副会長 木島 清 27 D 卒  
副会長 八木橋祥价 33 W 卒  
常任幹事 渡邊孝雄 44 D 卒  
監査 柿沼久太郎 34 W 卒

顧問 五十嵐健雄 前会長  
顧問 尾池康雄 前校長  
顧問 加藤健一 学校長  
顧問 長谷川功二 定教頭

(五) その他

桐雷十二号について

副会長 北川 貞彦  
第九回ゴルフ大会について  
副会長 木村 広治

五十嵐会長へ感謝状贈呈  
新会長 池田 光二

四・閉会の辞

副会長 中野 明

以上

## 二部・総会記念講演

講師 慶徳勝正氏

サンヨー食品 専務  
紡織・機械科20年卒

演題 「日本の加工食品について・即席ラーメン  
四十年の歩み」

戦後、食文化の一つに定着した即席ラーメンについて、即席食品業界の歴史および戦後日本の経済復興状況、また、そこに自ら携わられた様々な経験を含め、講話をいただき、ゴルフ場経営等、多岐に渡るご活躍の様子を伺い知れる内容でした。



感謝状を手にする五十嵐前会長



熱弁する慶徳勝正氏

## 三部・懇談会

次第

挨拶

新会長 池田 光二

乾杯

新顧問 五十嵐 健雄

懇談(模様)



・旧友との記念撮影



一のみ

第十三支部長 周藤晴二



・星野常男 顧問より一言



二のみ

第十四支部長 田中万夫



・校歌斉唱

三のみ

第十五支部長 松井賢一



・万歳(閉会)

第十六支部長 星野昭治



# 素晴らしい桐工同窓会

前会長 五十嵐 健雄

錦木やこがれて霜の門に立  
立つ

何時か秋も深まり霜の季節  
になって参りました。

同窓会員の諸兄には益々こ  
健勝の事とお慶び申し上げます。

会長退任に当たり一言ご挨拶  
を申し上げます。

前会長の後を引き受けて丸  
9年、どうしたら同窓生が仲

間意識を持って融け合うことが  
出来るか、その為の出会いの  
機会を何処に求めたらよいか  
腐心し地域単位の同窓会、俗

に言う支部の設立に努力して  
参りました。市内はもとより  
群馬県内3支部 足利支部、

埼玉県支部、静岡県支部、名  
古屋を中心にした中部支部、  
大阪を中心にした関西支部、  
等々25支部が、現在活発に活  
躍しております。

全支部の総会に出席させて  
戴きました。特に印象深いも  
のは創立総会です。皆さん初  
めての顔合わせで、何となく  
不安もあり緊張もあり馴染み

の薄い者同士です。しかし話  
が学校に及べば、直ちに仲間

です。年代が代わり時代が変  
わっても、校舎、先生、共通  
の話題で一瞬にして生徒の時

代に逆戻りです。懐かしさが  
込み上げてきて何時か目頭を  
押さえる者も多々ありました。

街の様子も、山、川の様子  
も総てが関心の的なのです。

懇親会で肩を組み合い、最後  
に歌う校歌では涙、ポロポロ、  
ああ支部が出来て良かったな  
と痛感致したものでした。

何か、この感激は距離の二  
乗に比例する様な感じが致し  
てなりませんでした。

そのご苦労を戴いた支部長  
さんにもお集まりを戴いてい  
るのが支部長会議です。毎年  
欠かさず行われております。  
支部の皆さんが一堂に会す

る総会も毎年盛大に行われる  
様になりました。日時が限ら  
れた関係で出席出来ない方も  
考慮して、又、角度を変えて  
参加しやすい様にとゴルフコ

ンペも開催致しました。回を  
重ねて今年で9回です。晩夏  
灼熱の太陽の下、入道雲を仰  
ぎながら、赤城山麓で展開す  
る仲間同志は珍プレーに抱腹

絶倒しその後のパーティーで  
は肩を組み合つての校歌合唱

に喜びと懐かしさに涙したの  
も思い出の一駒でした。それ  
でも参加出来ない会員のため

に同窓会報、桐蕾、も発行さ  
れております。多くの地域の  
現況、同期諸君の動向、加え

るに、母校の近況生徒の活躍  
の状況、等々をご案内し参加  
しやすい同窓会に鋭意努力し

て参りました。まだまだ皆様  
に満足して戴けませんでした。  
力量不足は次期池田会長にお  
願い致すことに致しました。

この素晴らしい桐工同窓会  
の会長を9年間の長きに亘り  
ご指導ご援助下され、その運

営にご理解を戴き、過分なご  
尽力を賜つた学校と事務局を  
担当した先生方、それに先輩  
諸氏の変わらぬご指導に厚く  
御礼申し上げます。

同窓会員諸兄の益々のご健  
勝の内でのご活躍と更なる交  
流交歓がされます様に祈念し  
御礼のご挨拶と致します。

# 新副会長長抱負

色染科 昭和二十七年卒  
木島 清

紡織科 昭和三十三年卒  
八木橋祥价

朝日輝く妙なる色に……。

肩を組み、手をつなぎ大きい  
輪になって歌う校歌。

卒業して四十八年ふりに味う  
懐しさと感激。平成十二年度  
同窓会総会の後、懇親会フィ

ナーレの大合唱は私にとって  
忘れていた遠い青春の日の感  
触が蘇ってきました。

去る五月八日の同窓会役員  
会の席上、副会長にご推薦頂  
き総会にて、ご承認頂きまし  
た木島でございます。どうぞ  
宜敷しくお願い申し上げます。

同窓会も六十余年の歴史を重  
ね先輩各位の母校愛は全国各  
地に支部を誕生させ一万七千

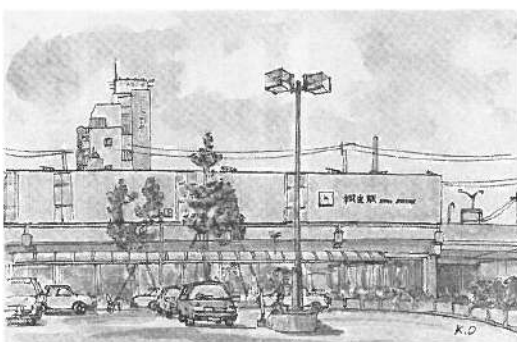
余の卒業生が各界で活躍する  
素晴らしい同窓会である事に心  
からなる敬意を表すと共に私  
自身、その同窓の一員である  
事に誇りと責任を感じます。

五十嵐先輩から池田先輩に  
会長が引き継がれました。  
名誉ある桐工高同窓会新役  
員の一員として、新会長と共  
に頑張ります。

この度、伝統ある桐工同窓  
会の副会長に就任いたしました。  
微力ながら諸先輩のご指  
導を頂きながら同窓会発展の  
為に努力をして参り度いと思つ  
て居ります。

二十一世紀が始まり新しい  
歴史を担う青少年の健全育成  
は真に重要であり国家の存続  
地域社会の発展の為に大きな  
関心事であります。

先達者である同窓会の充実  
発展は大切な事と考えます。  
今後共よろしくお願いを致  
します。



桐生駅 (両毛線)

# 支部だより

## 初の試み

### 中部・静岡合同支部総会

支部長 35M 蟹江光正

結成四周年を機に、合同総会を行った。五月十三日(土)、十四日(日)、我国三大名泉の一つ下呂温泉、オテル・ド・マロニエで開催。同ホテルは愛知・岐阜・三重に一ヶ所づつ立地。会員制のリゾートホテルであり小生とオーナーとが友人の為、会員料金で利用させて頂いている。両支部から十九名、来賓四名、計二十三名が集まった。

39M岡部和夫氏の名司会で

始まり、27W山崎浩司氏の開会の辞に続き、中部、静岡両支部長の挨拶、35W小此木恒夫氏からは祝電披露、同窓会長、教頭、関西支部長、事務局長から挨拶を頂いた。第二部は宴会が盛り上り、飛騨牛と地酒で舌鼓を打った。第三部は会場を移しカラオケ大会となり、なつメロに響いた。

最小の予算で最大の効果を

ノなるべく沢山の仲間が集り易いシチュエーションの

企画に毎年、苦勞している。支部長の悩みの本音である。



中部・静岡県支部合同総会(下呂)

### 「第4回総会を中部と静岡で開催して」

静岡支部 高草木敏夫

静岡県支部の第4回定例総会が新緑の映える岐阜県の「下呂温泉」にて五月十三(十四日)の一泊二日の日程で、盛大に開催されました。今回の総会は、当静岡支部が設立して4年目という事で、今回は趣向をこらして、一泊二日

でゆっくり温泉にでもつかれる総会はどうかとの話しが出て、中部の蟹江支部長の紹介もあって、同期設立のよしみもある二支部が合同で総会を開催したらどうかとの事で、急遽、話がまとまったのでした。静岡支部より6名、学校側より3名、中部支部12名の出席でした。ホテルは会員制のド・マロニエです。総会は風呂あがりの上気分で浴衣姿で行いました。議事も滞りなく進行、いよいよ懇親会です。

今迄の総会とは違い初めて会う人ばかりです。自然と話も進み、有意義な一夜でした。翌日は観光組とゴルフ組に別れて楽しみました。又いつか合同で総会を開催できる日を楽しみにと帰路につきました。



### 非破壊検査(株)にて



## 関西支部

### 「心の拠りどころ」に

関西支部長 21W 坂田 弘

関西支部第七回総会は、新緑の四月二十二日(土)に開催され、席上、六年間も格調高く立派な支部に育て上げられた今井嘉吉(14W卒)前支部長に代わり、はからずも後任を仰せつかりました。能力・人柄に優れた同輩や後輩が多い中で、大変な重責と感じており皆様のご協力を得て有意義な支部活動を行って参りたいと念願しております。

支部の中でも我が郷土「群馬」の一番遠い所に位置しておりますから、郷愁の思いの強い集団です。会員が種々の

催しを通して友好を深め、心の拠りどころとなればと思っております。支部会員の中には、地域のため社会のため大きな展望をもち、活躍の方々が大勢おられますことは大変心強く誇りとするところで。そのような方々と更に研鑽をと、京都橘女子大学猪熊兼勝教授の「考古学が面白い」を聴講いたしました。興味深い話が多く、総会の一方の楽しみになっております。

## 埼玉県支部

### 第八回支部総会報告

支部長 23D 松下 徹也

平成十二年三月十二日、大宮市駅ビル・ルミネ・ホワイトルームにて、五十嵐会長、尾池校長、中里事務局長のご

来席を頂き第八回支部総会を開催致しました。今回も東京在住の笠原進(24W)、大須賀一雄(31M)両同窓生に参加頂き、特に笠原氏には「熟年登山の楽しみ」と題して特別講演をお願い致しました。鐘紡在職中から現在も続けられている登山を介して得られた自然並びに人々との触れ合

いを、思い出が一杯の登山ア  
ルバムを回覧しながらの氏の  
温かい人柄が伝わって来る名  
講演でした。

席を替えて懇親会では従来  
の小卓を囲む方式を、今回は  
大卓に全員が対面して会食す  
る方式に変更したため、各  
参加者の自己紹介時に、思い  
出話、苦心談、近況報告等が  
加わり、時の経つのを忘れ、  
会は知らぬ間に予定を三十分  
以上も超過してしまいました。  
参加者一同の心の通い合った  
素晴らしい総会でした。

第二回総会・倉壽司



群馬県立桐生工業高等学校同窓会  
第八回埼玉支部総会

大宮市・ルミネ

### 数塚支部

#### 支部設立

支部長 30D 藤生高正

近隣市町村において、同窓  
会支部の活動、活躍を聞き我  
が数塚にも支部をといて思い  
が強く、有志をつのり設立に  
向け準備を進め平成十一年十  
一月二日五十嵐同窓会会長の  
ご来席を頂き、出席者約五十  
名の中で発会式を開会できま  
した。支部長藤生高正以下役  
員も無事承認いただき支部の  
スタートとなりました。  
平成十二年四月一日には、  
五十嵐会長、長谷川教頭、中  
里事務局長のご来席を頂き設  
立後初の総会を町内倉壽司に  
て開催し、約四十名の出席の  
中盛大の内に終了いたしました。

これからの活動を通じ会員  
相互の親睦を深めていきたい  
と思います。  
（各支部上位5名のネット数）  
以上21支部の対抗で行なわ  
れました。（12支部は広沢町）  
流石に、上位の方々はとて

## 第9回桐工親善ゴルフ大会

本年も、149名の同窓生  
が集り、8月23日に赤城カン  
トリイ倶楽部にてゴルフ大会  
が開催されました。

#### （成績発表）

#### 団体の部 (ネット)

優勝	12支部	360・0
準優勝	大間々	363・8
3位	笠懸	365・0
4位	数塚	365・6
5位	15支部	366・0
6位	7支部	367・0
7位	13支部	367・6
8位	14支部	367・6
9位	4支部	369・2
10位	16支部	373・6
11位	11支部	373・8
12位	本部学校	374・0
13位	9・10・18支部	377・0
14位	6支部	377・2
15位	扇中部	377・4
16位	太田	378・6
17位	8支部	380・0
18位	群馬中央	381・8
19位	加藤鉄工	385・6
20位	埼玉	398・2
21位	1・2・3支部	444・6

#### 個人の部

優勝	園田徳司	69・0
準優勝	田島義弘	70・0
3位	野村 滋	70・6
4位	新居善一	70・8
5位	系井佳夫	71・0
6位	橋内 俊	71・2
7位	落合正博	71・2
☆ニアピン賞☆	田島 孝宏	小澤 貞夫
	田島 義弘	新井 三夫
	関子田守一	津久井 弘
	鈴木 成一	桑原 一郎



優勝した第12支部のメンバー

もゴルフが上手ですね。  
☆ドラコン賞☆ (氏名のみ)  
津久井孝充 ・ 橋内 俊  
石関 勝一 ・ 田島 孝宏  
○シニア○  
会田 俊夫 ・ 井上 修一  
蛭間 桑雄 ・ 高松 良尹  
☆ニアピン賞☆  
田島 孝宏 ・ 小澤 貞夫  
田島 義弘 ・ 新井 三夫  
関子田守一 ・ 津久井 弘  
鈴木 成一 ・ 桑原 一郎  
以上が、今大会の結果でございませう。  
来度は、第10回大会になり  
ます。同窓生の皆様の多数の  
参加をお待ち致しております。  
今大会を企画された実行委  
員会会長木村様をはじめとし  
て委員の皆様には大変お世話  
になりました。

参加の  
初参加の  
女性小此  
木様

シニアベストグロスの  
坂本様



# 学校だより

## 新たな

## 国際交流

### 国際交流係 太田隆明

本校では、従来から行っているニュージールランドのローズビルカレッジとの交流に加えて、今年度から中国の四川省にある成都紡織高等専科学校との生徒間の交流を開始しました。この事業は一九九五年に両校の間で交わされた覚書にもとづくもので、昨年度までは教員どうしの交流を行ってまいりました。

日本語の授業を有志の先生方に開講してもらいました。

三人の留学生は四月十一日に来日し、四月十四日から登校を始めました。日本に滞在中は同窓生、在校生、職員の方々のご家庭に約一ヶ月交代でホームステイをしました。定期試験中には県内の様々な施設を見学し、放課時間が早まった三者面談期間中や夏休みには、中国語講座、中国料理講座、日本料理食事会など本校の生徒や職員との交流の機会を設定しました。

これらの活動を通じて、ホームステイを引き受けてくださったご家庭の方々、留学生が在籍したクラスやいっしょに授業を受けたクラスでの先生方や生徒たち、留学生が参加した部活動の顧問の先生方などたくさんの方々がこの事業に関わってください、留学生たちはとても豊かな体験ができたことを喜んでいました。また、本校の生徒たちも留学

は杜娟さん、倪浩君、彭継秋さんの三名で、いずれも服飾デザインを専攻しています。在校生のクラスの人数の関係で杜さんは染織デザイン科三年に、倪君は機械科三年一組に、彭さんは電気科三年に在籍しましたが、実際の授業は染織デザイン科の実習科目を中心に履習しました。同時に、

生との交流を通じて友情を育んだり、留学生たちの熱心な学習態度に触発され自らの生活を省みたりするなど、大変実り多い事業とすることができました。帰国直前に開催したパーティーにはホストファミリーの方々や職員など実に六十名以上の方々に参加してください、留学生たちがつくってくれた本格的な中国料理を楽しみつつ、別れを惜しみました。八月十一日の朝に帰国の途についた留学生たちを見送る時には、万感胸に迫るものがありました。

まだまだ不十分な点も多かった一年目の交流でしたが、多くの人々のご協力を得て無事に終了させることができました。よりよい事業としていくため、一層努力と検討を重ねていくつもりです。最後に、この事業に対して様々なご支援をいただいた同窓会とPTAの方々、ホストファミリーを引き受けてくださった皆さん、そしてこの事業に無償で関わってくださいました皆さんの心から御礼申し上げます。ありがとうございました。

また、本校の生徒たちも留学

## ロボット大会

### 新井 博

群馬県内のアイデアロボット大会は今年で7回目、相撲は5回となります。

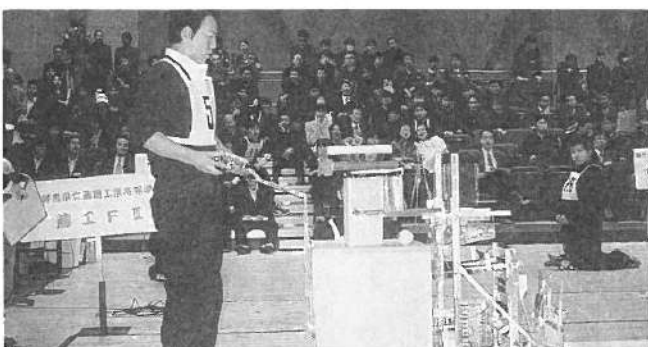
それぞれ全国大会もあります。相撲ロボット大会は企業のスポンサーもつき、高校生その他に一般の部もあり、勝てば資金が出たり、アメリカへ行けたりと、多彩です。一方アイデアロボットは全国産業教育フェアのひとつの催し物にすぎず全国工業高校校長会が主催しています。こちらは資金が潤沢でないらしく資金もありません。司会も相撲はプロのアナウンサーですが、アイデアは高校生です。

桐生で取り組んでいるロボットはこの2種類ですがロボットという様々な形態に派生しています。大道芸ロボット(見て楽しめるもの)や、風を動力源としてその風に向かつて走るものや、線に沿って走るマイコンカーラリー・迷路から抜け出すマイクローマウス(いずれもタイムレース)、

またふつかり合って正に勝敗を決するもの、移動のロボットが連係プレーするサッカーロボットなどいろいろあります。我々が作っているロボットの大会は11月18・19日の産業教育フェア(絵・群馬県庁)の大会です。

みなさんも群馬県一高いピルの県庁に来てみるのでもいいと思います。最上階で『くんまちゃん』の馬のぬいぐるみ等も売っています。

あと一ヶ月ほどしかありませんが、良い成果が残せるよう放課後残る日々を送っています。



昨年のロボット大会 選手宣誓(於：桐生市民文化会館)

### 桐工進路指導部より

進路指導専事

星野隆一

昨年度の本校卒業生数は217人で、その内、就職が14人の52・5%。就職進学4人の1・8%。進学99人の45・6%でした。

高校への企業からの求人が年々減ってきている中、工業高校への求人は他の高校より多く、工業立国「日本」、そして、何よりも桐生工業高校の卒業生が築き上げた伝統を強く感じています。

学校ではいろいろと進路指導を行っています。今年度の工場見学では、1年から3年までの全員が企業や施設の見学を一齐に行いました。そして、そこで働く人たちに、ここでの仕事や自分の生き方を学んできました。また、最近ではインターンシップ（就業体験）が話題となっており、本校でも各科毎に準備計画や実際にそれに取り組んでいます。

また、大学等の進学では公募制推薦制度や、進学係が大

学訪問等で開拓している指定校推薦制度を利用し、多くの生徒の希望が叶えられるよう努力しています。今年度は平成13年度の指定校として、多くの大学から指定を受けています。

また、毎年のごとくですが、進学希望者の補習授業は2年から始め、3年では特に、夏休みの土日を除く全ての日に、進学係を中心として実施しています。

今年も景気の厳しい状況の中、進路指導部では、生徒一人一人の能力・適正に応じた適切な進路選択や決定ができるよう、進路情報の提供や進路相談、補習、就職や進学の見学を行っています。



### 事務局だより

平成十一年十一月二十八日に第三回の笠懸支部総会開催。

平成十二年三月十二日に第八回埼玉支部総会、四月一日に第二回薮塚支部総会、四月二日に第七回関西支部総会、五月十三日に中部と静岡県支部合同の第四回総会が、六月十日に第十六支部第四回総会、七月十五日に第一支部第二回総会、八月二五日には群馬中央支部第五回総会がそれぞれ開催されました。

市外支部、特に県外支部で、毎年総会・講演会・会報発行・鑑賞会・見学会・親睦ゴルフコンペ・親睦旅行等活発な活動を行なって頂いております。中部支部と静岡県支部は下呂温泉で合同の総会を開き支部同志の交流を行ないました。桐工親善ゴルフ大会へも中部と静岡各2名1組で参加されました。また、群馬中央支部でも、昨年来からの埼玉支部よりの呼び掛けに答え、ゴルフコンペを十二月初旬に群馬中央と埼玉と桐生を含めた開催を計画しています。

点から線へ広がり、支部同志の交流が期待されます。

六月末に、五年に一度の平成十二年版の同窓会員名簿が発行されました。東京都武蔵野市在住の大須賀一雄氏(30M卒)運輸調査局勤務、JR駅の絵を約千点描いている)に表紙画として、本校の風景を描いて頂きました。また、同窓会の沿革・支部の活動もそれぞれまとめましたが、誤りや把握できないもの等も多々ありますので、ご指摘頂ければ幸いです。勧誘の電話や実家へ卒業生の友人を名乗り現住所や電話番号を問い合わせる電話など多々学校へもご連絡を頂きますが、支部の会員把握等重要な役割を担っていますので本会名簿作成にあたりましては何卒ご理解・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

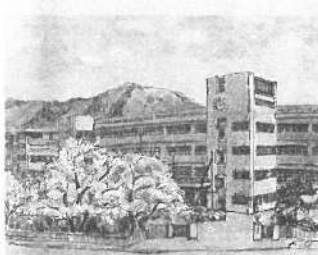
### 編集後記

二十世紀最後の「桐雷」会報となりませんが、平成十二年度は、長年ご活躍頂きました五十嵐会長が退任され、池田会長へバトンが渡されました。副会長も木島さん、八木橋さんと新たに選任され、又学校側も加藤校長先生に変わられ、新たな体制のもとに二十一世紀に向けて歩みを始めております。

同窓会も各地の支部が徐々に活発化しており、埼玉支部では「埼玉だより」十四号を発行するなど嬉しい状況です。桐生も「このまち浪漫」を合言葉に桐生のあらゆる団体、五十ものエネルギーが結集したイベント第五回桐生ファッションウィークが十一月に開催されます。歴史とものづくりの町、桐生の底力が見えます。桐工同窓会も「桐工浪漫」を合言葉に、この会報が役に立つことを念じております。

### 同窓会員名簿

平成12年版



群馬県立桐生工業学校  
群馬県立桐生工業高等学校



現在の校章